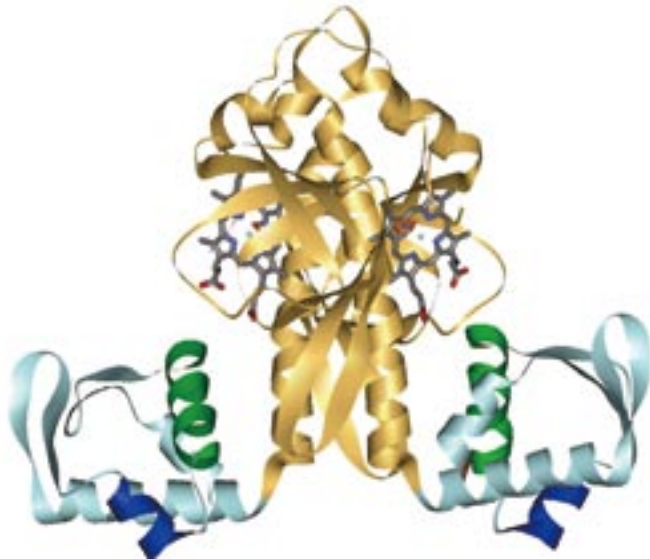


分子科学研究所の二専攻における研究

構造分子科学専攻

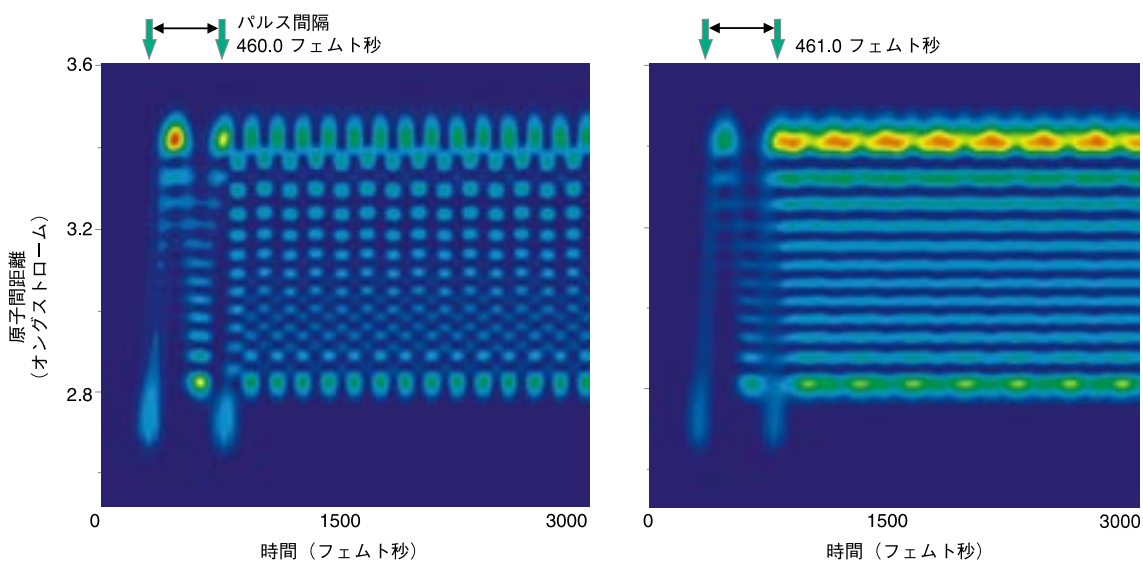
詳細な構造分析から導かれる分子および分子集合体の実像から物質の静的・動的性質を明らかにすることを目的として教育・研究を一体的に行う。従来の分光学的および理論的な種々の構造解析法に加え、新しい動的構造の検出法や解析法を用いる総合的構造分子科学の教育・研究指導を積極的に推進する。



鉄ポルフィリン錯体を含む一酸化炭素センサータンパク質の構造（左）と一酸化炭素センサータンパク質の結晶（上）

機能分子科学専攻

物質の持つ多種多様な機能に関して主として原子・分子レベルでその発現機構を明らかにし、さらに分子および分子集合体の新しい機能の設計、創製を行うことを目的として教育・研究を一体的に行う。新規な機能測定法や理論的解析法の開発を含む機能分子科学の教育・研究指導を積極的に推進する。



アト秒 (10^{-18} 秒) レベルで時間差を制御した二つのレーザーパルスを分子に照射した時に発生する干渉模様を示すシミュレーション